

PTA会報
NO.42

さくら

編集・発行 2025年 6 月 9 日
神河中学校 PTA文化・研修部



新年度を迎えて

神河中学校 PTA 会長 桐月 久和

令和7年度神河中学校PTA会長を務めさせていただきます桐月久和です。新年度を迎え早くも2ヶ月以上が過ぎました。

30年以上前、私が中学生だった昔に比べると、先生と子ども、また保護者と子ども、さらに先生と保護者の関係や、接し方も随分と変わったように感じます。しかし今も昔も勉強や部活動に、子ども達は1日の多くの時間を、家よりも学校で過ごしていて、我々保護者より先生の方が子ども達の素の部分を知っておられるのではないかと思います。自分を振り返っても中学生生活の3年間は、子どもから大人へととなっていく貴重であつという間の3年間でした。

PTA会長を務めさせていただく事にならなければ、校長先生をはじめとした先生方とほとんど接する機会が無いままだったでしょう。

私たち保護者も子どもと一緒に真っ直ぐ成長出来るように、先生方と協力して1年間出来るだけ頑張りますのでどうかよろしくお願いします。



3年生 集合写真



新年度を迎えて

藤 本 悟

満開の桜の花に歓迎され始まった令和7年度も新緑の季節を迎えました。今年度69名の新生を迎え、215名でスタートしました。生徒たちは今、毎日の学校生活を生き生きと過ごしています。学校教育目標は「変化に対応し やさしく 楽しく たくましく～ふるさと神河を愛する生徒の育成～」です。「変化に対応する」とは、わたしたちが生活したり、学習したりする上での状況の変化、時代の変化、環境の変化を想定し、それぞれの変化に応じて生活していくことです。そのために、「心の持ち方」「考える力」「行動する力」「コミュニケーションする力」「自分の思いや考えを発信する力」を身につけることが肝要です。自分の周りの人たちと協力し合いながら生きていく中で、「ふるさと神河っていいな。落ち着く。大好き。」と思えるようになればと願っています。この目標を達成するために、生徒と教師、保護者、地域がお互いに協力し合い、一体となった学校教育活動が展開できることが望まれます。

さて、話は変わりますが、「あなたは運がいいですか？」とたずねられたら、どのように答えられますか。パナソニックの創設者松下幸之助さんは、面接試験で「自分は運がいい」と言う人を採用していたそうです。その根拠を5つ挙げています。

- ① 「運がいい」と自分で言う人は、状況を客観的に見つめ、自分の経験や成功を前向きに捉える傾向があり、成功を引き寄せる一因があるからです。
- ② 「運がいい」と言う人は、楽観的に割り切って考えることができ、困難な状況に陥っても希望を持ち続け、それを乗り越えるための努力を惜しまないからです。
- ③ 「運がいい」と言う人は、レジリエンス（精神的回復力）も高い傾向にあり、逆境に直面してもその状況を自分の成長のチャンスと捉え、冷静かつ前向きに対応できる人材だからです。
- ④ 「運がいい」と言う人は、他者との関係においてもポジティブな影響を与える力を持っていて、単にスキルや知識だけでなく、周囲に良い影響を与える人物が多いからです。
- ⑤ 「運がいい」と言う人は、「運」は偶然ではなく、むしろ意図的に築かれるものだと考え、運を引き寄せるために日々の努力を惜しまない姿勢を持っているからです。

「運がよかった」には偶然の事象は少なく、大半が必然であるので、「運がないなあ」と思う状況でも前向きに対処し、素直に行動していると、周囲に良い影響を与え、運が巡ってくるようです。「運がいい」と言う人は、運を自分で引き寄せることができると信じ、その信念のもとで行う行動が成功をもたらしていると言えるのではないのでしょうか。これまでの生活を、より自分に正直に、より一生懸命人や物を大切にしながら生活してみてはいかがでしょうか。運はきっとあなたにも巡ってきます。



新入生歓迎桜空会 おうぞら



新年度を迎えて

1 学年主任 桂 沙織

「おはようございます!」。差し込む朝陽を背に、元気なあいさつとともに校舎に入ってくるまぶしい生徒たち。一瞬の時間を止めて、まっすぐな視線を送り、出会う友だちや教師にあいさつをしている生徒たち。中には会釈まで…!このようなやりとりが当たり前にあることにまだまだ慣れず、毎朝出会う生徒の数だけ感動をもらっています。この春、この神河中学校へやってきた私は、学校のすぐそばに見える木々の迫力を間近に感じながら、毎朝、植物が朝露で潤うかのように、生徒の挨拶から心も潤いをもらっています。豊かな心がすくすくと育ちそうです。

さて、4月に入学した17回生も、この2カ月でたくさんの学びができました。4月の歓迎桜空会では、企画・運営から、競技を全力で楽しむ先輩方の姿を見て、これからのなりたい自分に重ね合わせ、多くの1年生が喜びや感謝の気持ちを抱き、そして先輩への憧れのまなざしを振り返りに記していました。また、初めての校外学習となった大阪・関西万博では、またとない世界の催しに参加し、体験することで、外国の文化や日本の未来、そして可能性について触れることができました。このほかにも、学校生活の様々な場面では、各々考え、実践しようと取り組むなど、日々、生徒の表情や行動から、学校という場がたくさんの発見や経験の場として溢れていることが感じられます。

このような時間を重ねていき、これから、生徒たちはこの神河中学校で、身も心もどんどん成長していくことでしょう。学校生活の中で、たとうまくいかないことがあったとしても、その経験が次に繋がることを知ったり、また、すぐに結果が出なかったとしても、物事を続けることが強さを身につけることであったりなど、授業や部活動などさまざまな活動を通して経験を積み重ねてほしいです。自分の頑張りが、思った結果とは違ったとしても、それを仲間と一緒に受け入れられたり、次の目標に変えられたりと、素晴らしい経験に繋がるかもしれません。中学校での様々な学びが今後の人生の土台となるよう、さらに多様な未来を切り拓いていける力を育めるよう、我々も時代の変化に合わせたアップデートを図りながら取り組んでまいります。

保護者の皆さまのご協力のもと、力を合わせ、子どもたちの最強応援団を作っていけたら幸甚です。1年間、どうぞ宜しくお願いいたします。

3 年生

3 年生になって



今までは自分のしたいことを優先してしまっていた。勉強をするのが苦手で後回しにして好きなことばかりしていた。だから、我慢しなければならないときは我慢することを身に付けたい。3 年生になると、受験とかで自分の趣味の時間が短くなったりすると思うけど、自分のためにも今までと同じような時間の使い方にならないようにしたい。3 年生になると、今までより 1・2 年生の前に立つことが多くなると思う。自分は部活動の部長だし、前の部長に「あなたなら頑張れる」と言ってもらったので、その言葉を胸に頑張りたい。

3 年生では行事に精一杯取り組みたい。3 年生最初の行事は修学旅行で、実行委員もやるから全員が楽しく思い出に残る修学旅行にしたい。体育大会では応援合戦で 1・2 年生を引っ張り、全員で頑張れる空気を 3 年生がつくっていききたい。合唱コンクールは気持ちを込めた歌で聞いてくれる人に感動してもらいたい。中学校生活最後の年なので、自分に与えられた仕事を全うし、自分のためにも周りの人のためにも進んで行動したい。

中学 3 年生として、まずはやるべき当たり前のことを当たり前にすることが目標です。そして、「自分から」を大切にしたいと思っています。クラスの中の挨拶など自分から率先して行動していきます。1・2 年生のときは積極的にいけていないときもあったので、積極性を大切にいろいろなことに関わっていききたいと思っています。学習面では、3 年生はこの先の進路に向けての勉強がメインになり、テストが多くなり、しんどいことも増えると思います。でも、1・2 年生のときの反省を思い出し、計画性を大切に毎回目標を決めて、それを達成できるようにしていきたいと思っています。

3 年生ということで、全てが中学校生活最後になります。行事などは、全て全力で取り組み、楽しみたいと思っているし、3 年 2 組としても成長できたらいいなと思っています。自分は運営側になるときもあれば、協力する側になるときもあると思います。どちらの立場になっても全力で取り組みます。運営側になったときは、全員が楽しめるように工夫をしたいと思っています。どの行事も悔いが残らないように全力で楽しみたいです。残り少なくなった部活動にも全力で取り組みたいと思っています。

また、今のメンバーでバスケットボールができる日も少なくなっています。1 日 1 日を大切にしたいなと思っているし、何よりもチーム目標を「中播優勝 県大会での上位進出」に向けてひたすら頑張りたいと思っています。キャプテンとしてチームをよくしていくことや、個々の技術の向上など、チームのために自分ができることをして、目標を達成したいと思っています。3 年生になり、大変なこともたくさんあるし、しんどいこともあると思うけど、やるべきこと、やりたいことを両立できるように何事も全力で、そして何より笑える楽しい最高の濃い 1 年にしたいです。

修学旅行に行って

修学旅行では全員でルールや時間について考えて行動することができました。修学旅行を通して、僕は自分達が楽しいと思えるのは、誰かの支えがあってこそ感じることができるものだ、ということを改めて思いました。もちろん、自分達が頑張り、成功させた班別研修もあります。しかし、ホテル等の予約、場所までのルートなど、僕たちが過ごしやすいと思えるようにしてくださったのは、他でもない先生方のおかげです。準備などでは親に助けてもらいました。修学旅行を楽しむために、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

班別研修のときに、道がわからなくなってしまいましたが、班のメンバーで話し合いながら目的地にたどり着くことができたのが良かったです。浅草では人が多すぎて班がバラバラになってしまいました。周りをよく見て行動できなかったことが反省点です。全体的に見れば、修学旅行は大成功だったと思います。とても楽しかったし、最高の3日間になりました。しかし、自分自身の行動に目を向けると、いろんな失敗をしてしまいました。なので、今回の失敗を糧にして次により取組ができるように改善していきたいです。

東京ディズニーランドや班別研修を思いっきり楽しむことができたのは、周りの人の支えや助けがあったからだと思います。修学旅行を通して、周りの人へ感謝の気持ちに気付くことができました。特に、朝からお弁当をつくってくれ、笑顔で家を送り出してくれた親には感謝の気持ちでいっぱいです。これからの行事も全力で頑張りたいです。



3 - 1



3 - 2



2 年生

2 年生になって



僕は、気づいたらいつの間にか、中学 2 年生になっていました。進級できた事には安心しましたが、一つ学年が上がったという実感がありませんでした。中学校っていろいろ不思議だなあ～、そんなことを考えながら僕の春休みは終わりました。その日の夢もまた不思議で、「輝け、はばたけ、新たな自分になれ！」そんな内容でした。その日は「新たな自分ってなんだ？」と考えていました。そして今、新たな自分が分かった気がします。そう、それこそが中学 2 年生になった今の自分だと。ただ、一つ気になっていることがあります。本当に中学 1 年生のときと自分は変わったのか？そんな心の問いでした。今、思い返してみると、あまり一年生のときから進化した、変わったとは思えませんでした。一体どうすれば…そう悩んでいたとき、ふとある言葉が耳に入ってきました。「自立」でした。「そうだ、今までのように人に頼らず自分の力でできる限りのことはやっていこう。」その日から自立すると心に決め、新たな自分に近づけるように、二つのことを意識して日々を過ごしています。一つは、積極的に活動することです。1 年生のときよりも発表数を増やし、代議部や風紀部に入ったりして積極的に活動したいです。もう一つは、行動に気を付けることです。まわりを見たとき、黒板が消されていたりなど、細かい事に気付いて少しでも手助けができるようにしたいです。そして、理想の自分に近づきたいです。

2 年生になってから、私は何をがんばりたいかと考えたとき、3 つのことが思い浮かびました。

一つ目は、先輩として後輩のお手本になれるような人になることです。1 年生だったときに、カッコいい先輩の姿をたくさん見てきたので、しっかりした先輩になりたいです。初心を忘れずに、優しくてカッコいい先輩になれるようにがんばります。

二つ目は、勉強です。1 年生のときはワークを終わらせるのがおそくて、勉強の時間があまり取れていませんでした。ワークを早めに終わらせて、予習、復習をちゃんとしていきたいと思います。得意な教科も苦手な教科も勉強してがんばりたいです。

三つ目は、友達とたくさん遊ぶことです。ちゃんとするときとリラックスするときと、メリハリをつけていきたいです。時間を大切に、思い出をいっぱいつくりたいと思います。

いろんなことに挑戦して、積極的に行事などにも参加していきたいです。周りをよく見て、自分から動ける人になりたいです。今年もがんばるぞー！！！！



大阪・関西万博に行って

2年生 集合写真

私が万博に行って一番印象に残ったところは、電力館でした。卵を使ってたくさんのゲームができたり、未来の光の在り方や今問題になっている事など遊びながら学べたのが本当に楽しかったです。最後の光を作っているいろんな演出があったところは本当にきれいで光ってこんなことにも使えて人の心をうっとりさせられることができると知って、新しい発見もできたし、光、電力ってすごいものなんだと知りました。その後はトルコパビリオンやイタリアのジェラートを食べに行けたけれど、どこも人だらけで、すごかつかれました。また次行けるとしたら、時間を気にせずに自由にいろんなパビリオンに行ってみたいと思います。



2-1



2-2



1 年生

中学生になって



4月8日に、私たちは神河中学校に入学しました。緊張していた人もいれば、不安だった人、楽しみだった人もいます。朝、私はドキドキしながら学校へ入ってみると、広すぎて階段がどこにあるかわからず、何人かで「どこやろ?」と言っていると、後ろから優しい先輩たちが、「一年生の教室わかる?ここが階段やで!」と教えてくれました。その優しい先輩たちのおかげで、学校で迷子にならず教室へ着くことができました。そして、教室へ入ると、みんなが笑顔で「おはよう!」と言ってくれました。そして今は、自分の教室は覚えられました。早く、教室の場所を全部覚えたいです。

今、頑張りたいことと、今年の目標は、苦手な教科を、得意な教科にすることです。都道府県を覚えることです。47都道府県の場所を頑張って覚えたいです。

このクラスで、みんなで達成したいことは、笑顔いっぱいにすることです。1人ひとりの個性が輝くクラスにしたいです。そのためには、その人の長所や短所を理解して、周りの人たちで支えることが大切だと思います。

「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」を大切にして、良い一年間にしたいなと思います。そして私は、みんなのためになる行動をしたいと思います。そのためには、周りを見ることが大切だと思います。これからもみんなのためになる行動を続けます。



1 年生 集合写真

大阪・関西万博に行って

万博、とてもすごかったです。パソナのパビリオンは、未来を表現していたので、とても思い出に残っています。今まで見たことのないものばかりを見られて、とても嬉しかったし、大屋根リングに上がって、景色を見られたこと、五感で体験するものばかりで楽しかったです。コモンズ館では、その国の文化や歴史を知ることができて、とてもうれしかったです。国名は知っていても、文化や歴史は知らなかったし、その国の人に出会えて、いい体験でした。万博に行って、改めて、未来のすごさ、人間の技術、そして、私たちの生きている今のすごさがわかりました。

大阪・関西万博に行って、一番心に残っているのは、パソナ館の、アトム「いのち、ありがとう」です。パビリオンに入ってすぐに、「生命の進化の樹」がありました。「生命の進化の樹」では、未来の無限の可能性が表現されていました。少し進むと、「ネオアトム誕生」や「iPS 心臓」などがありました。小さな5 cmぐらいの心臓が動いていて、感動しました。人がたくさんいて、あまりじっくりとは見られなかったけど、大阪・関西万博に行って、生命の歴史を感じられました。



1 - 1



1 - 2



文化・研修部の皆さんから



思春期はつかず離れず

加門 公子

校庭の桜が満開の頃新入生が入学され、1ヶ月以上経過しました。小学校から中学校へ進むことに期待や不安を抱えながら、徐々に学校に慣れてこられたのではないのでしょうか。また中学校が初めての保護者のみなさんも同じことと思います。

我が家は、高校2年の長女、中学2年の長男、小学5年の次男の3人の子どもがいます。子育ては長女が初めてで、新鮮なことが多く、学びながら親になりました。2人目の長男について、要領はわかっているが姉とまた違い、考えさせられることや悩むこともあります。頼りになることもあります。3人目の次男は末っ子で幼く、こだわりが強いところがあるけれど、姉や兄を見て育ったので、親子とも要領がよく上手に甘えてきて親が癒されることがあります。子どもは3人3様です。

毎日の生活は、小・中・高と校種が違い、それぞれの生活スタイルやリズムが変わり、慌ただしく、家族みんなで支え合いながらの日々です。中学生の長男は思春期まっただ中で、だんだん家族との会話も少なくなり、何を考えているのか分からないこともあります。部活動や友達関係など悩んでいるときは、どことなく表情で分かるので、努めて話を聞くことにしています。特にストレスやプレッシャーに弱い部分がある我が子を見ていて、一喜一憂しながら、つかず離さずの距離で子どもを見守っていかうと思いつつも、一言多くなることがあり、反省することがあります。

3人の子どもの子育てを通して、親も育たなければと思う今日この頃です。



3 - 1

3 - 2





新年度を迎えて

垣内 翔太

我が家にはしっかり者の高校1年生の長女、マイペースな中学3年生の次女、我が道を行く中学1年生の長男がいます。長女、長男はこの春からそれぞれ新1年生になりました。長女はソフトボールをするために、自分の行きたい高校へ進学し、毎日朝早くに家を出て夜遅くに帰ってきます。長女の好きなことへのストイックさには本当に興味します。慣れない環境、忙しい毎日ですが、すぐに慣れ、毎日楽しく学校へ通っています。

長男は、中学校へ入学しました。親の私たちは心配の方が大きかったですが、毎日楽しく学校へ通っています。それも、友達や先生方に恵まれているからだなと周りの環境に感謝です。週末は野球のクラブチームでの練習で朝から夜まで頑張っています。

次女もいよいよ受験生です。心配、不安の方が大きいですが……。すべての行事に「最後」がつきます。部活も勉強も思い出作りも、我が家のモットー「何事にも全力で！」最高の1年にしてほしいと思います。

親の私たちも新年度からたくさんの事が変わりました。毎日の長女へのお弁当、朝早くからの送迎、週末は長女、次女、長男、それぞれ部活やクラブチームの送迎。目まぐるしい毎日ですが、子どもたちのことをしっかりサポートしていけるように頑張りたいです。成長していく我が子たちをこれからも1番の応援団で見守っていきたいと思います。

まだまだ新年度始まったばかりですが、家族で協力し合っていい1年にしていきたいなと思います。



新年度を迎えて

保西 優紀

息子が中学校に入学し、早くも3年目を迎えました。入学当初、あまり自分を表に出さないタイプの息子が、学校でうまくやっていけるかな？友達付き合いも大丈夫かな？と心配になったこともありました。しかし、親の不安とは裏腹に、楽しそうに友達とのやりとりの報告を聞いたり、部活動の試合を見に行ったりするうちに、「親の知らないところで成長しているなあ」とちょっぴり淋しく、同時に誇らしく感じていました。

小学生の頃は、ゲームが大好きで（それは今でも変わっていないかもしれませんが）、人との関わりが苦手な印象だった我が子。いつの間にか友達も増え、人付き合いや部活などでも柔軟に対応している姿に、成長を感じます。

今年度は息子にとっても、家族にとっても大切な1年になると感じています。行事をとっても、修学旅行や総体、体育大会に合唱コンクールなど、ひとつひとつが「最後なんだな」と思うと、さみしい気持ちと今後新しいステージを迎えていく喜びとで複雑な心境です。決して悔いの残らないよう、何事にも全力で駆け抜けてほしいと思います。



新年度にあたり

伊藤 泉

わが子がいよいよ受験生となり、新年度を迎える今年は、例年とは違った気持ちで春を感じています。まだ実感がわかない様子の子どもを見ていると、焦る気持ちもありますが、母としてはまず、心の支えとなれるよう心がけたいと思います。

受験という大きな壁に向き合う1年は、子どもにとっても親にとっても試験の年です。成績やテストの結果に一喜一憂してしまうこともあるでしょう。しかし、その中で大切なのは「努力する過程を認められること」だと私は思います。結果だけにとらわれず、日々のがんばりを言葉にして伝えることで、子ども自身の自信ややる気につながると信じています。

また、家庭では無理をさせずに、安心して過ごせる環境を整えていきたいです。睡眠や食事、休息も勉強と同じくらい大切に、笑顔を忘れない1年にしたいと思います。

母としてできることは限られていますが、「信じて見守ること」を大切にしながら、子どもと一緒にこの1年を乗り越えていきたいと思っています。



新年度を迎えて

PTA 副会長 前田 映美

新年度がスタートし、3年生にとっては中学校生活最後の1年となりました。先日、学校生活の大きな思い出となる修学旅行を終えました。一緒に過ごした友達との絆を深め、協力して物事を進めることの大切さを実感したことと思います。6月末には中播総体が始まります。これまで頑張ってきた自分たちの力を信じ、練習の成果を存分に発揮し悔いのないよう戦ってきてほしいです。

これから大きなイベントが終わるにつれ、親の方が淋しさを感じていくのかもしれませんが、子どもの成長していく姿を見守ることができることは喜びでもあります。子どもたちは学校生活の中で、様々なことを経験し、多くのことを学び、日々成長を重ねています。そして、様々な才能や個性の芽を膨らませていくことでしょう。

PTA 活動を通して私自身も成長できるよう、そして何より子どもと共有できる貴重な時間を精一杯楽しみながら務めていきたいと思っています。1年間よろしく願いいたします。

◇◆◇ 寄稿してくださった皆さま

ご協力ありがとうございました◇◆◇